

保険料水準の統一

香川県国民健康保険の姿

項目	数値(県内)	全国順位	全国平均	備考
被保険者数	195,475人 〔高松 79,943人 直島 651人〕	39位	—	1位東京都2,859,129人 47位鳥取県 114,510人
収納率(現年分)	93.20% 〔まんのう 98.83% 高松 91.37%〕	41位	93.69%	1位島根県96.64% 47位東京都90.26%
1人当たり医療費	447,841円 〔直島 530,166円 宇多津366,874円〕	6位	370,881円	1位島根県469,574円 47位東京都322,973円
年齢調整後の医療費指数	1.20倍 〔直島 1.258 宇多津 1.046〕	6位	—	1位富山県1.11倍 47位福島県2.29倍

令和2年度国民健康保険事業年報(厚生労働省)等

香川県国民健康保険の姿

項目	数値	全国順位	全国平均	備考
1人当たり保険料	97,800円 〔直島 114,180円 さぬき 80,988円〕	12位	96,625円	1位東京都113,152円 47位沖縄県74,113円
県内保険料格差 (介護納付金除く)	1.39倍 〔直島 106,008円 さぬき 76,234円〕	4位	—	1位長崎県1.36倍 46位北海道3.40倍
1人当たり所得	549千円 〔直島 799千円 小豆島 416千円〕	30位	678千円	1位東京都1,030千円 47位鹿児島県436千円
1人当たり 保健事業費	5,757円 〔綾川 17,957円 善通寺 3,234円〕	2位	4,185円	1位島根県6,474円 47位神奈川県2,782円
1保険者当たり 事務職員数	7.4人 〔高松 47人 直島 1人〕	36位	12.0人	1位神奈川県39.2人 46位奈良・高知県5.0人

保険料水準の統一について

現状と課題

- 国保の構造的な課題(所得水準が低く、医療費水準が高い。市町間の格差)
- 平成30年度の国保制度改革(都道府県単位化、財政支援の拡充)
- 一人当たり医療費が増加、被保険者数が減少による国保制度を維持

取組の方向性

- 市町が実施する国保事業の標準化
- 被保険者間負担の公平性の確保
- 財政運営の安定化を図りつつ、将来的に持続する国保制度

目指すべき目標

- 同一所得・同一世帯構成であれば、県内どこの市町に住所を有していても、同一料率・同一料額となる状態を目指す
- 国保事業の標準化、広域化の更なる推進

保険料水準統一のメリット・デメリット

メリット

- ① 相互扶助による財政運営の安定化
 - ・小規模保険者における医療費の増加や所得の変動等による不安定な財政運営へのリスクの軽減
- ② 統一保険料による被保険者負担の公平性の確保
 - ・被保険者が県内の市町間を異動しても保険料率は変わらないので、被保険者間の不公平感が解消
- ③ 国保事業の標準化・広域化による経費の削減
 - ・市町標準化システムの導入や保健事業などの標準化・広域化により、事業費や医療費を抑制

デメリット

- ① 市町独自で保険料率の引下げは不可
 - ・県内の保険料を統一するため、市町で独自に保険料を抑制するなどの政策的な取組みは不可
- ② 市町独自の事業が実施しにくくなる
 - ・地域の特性に応じた保健事業が実施できるよう一定の財源を確保するが、被保険者間の公平性を欠いた事業の実施は困難
 - ※例えば、保険者として人間ドックの自己負担無料化や対象者の大幅な拡大などの取組みは不可
- ③ モラルハザード発生の可能性
 - ・市町間の医療費水準や保険料収納率の格差拡大は、被保険者の負担につながるため、あらかじめ、基準やルールを設定

保険料水準統一に向けた段階的な取組み

第1段階 (R6～R11)

【目標① 納付金ベースでの統一と一部経費の都道府県単位化】

年齢調整後の医療費水準を反映させない。標準化できる項目を都道府県単位で算入する。各市町は、従来どおり保健事業費などそれぞれを積算し、保険料を算定する(赤字市町は料率改定の検討も必要)。

第2段階 (R12～R14)

【目標② 準統一 市町ごとに異なる歳入・歳出の統一】

市町ごとに異なる経費(保健事業費等)について、標準化を検討して算定基準を統一し、都道府県単位で算入する。

第3段階 (R15～R17)

【目標③ 保険料統一へ 収納率を反映しない保険料の統一】

収納率の高低で保険料率が変化しないよう標準的な収納率を設定する。収納率の低い市町に対して収納率の高い市町が過度な負担とならないよう収納率が一定以下になった場合の措置を導入。

最終目標 (R18～)

【最終的な目標 保険料統一】

同一所得・同一世帯構成であれば、県内どこの市町に住所を有していても、同一料率・同一料額となる。

保険料水準統一に対する首長のご意見について

保険料水準統一

本県における保険料水準の統一として、「同一所得・同一世帯構成であれば、県内どこの市町に住所を有していても、同一料率・同一料額となる」を目指すことについては、全市町の首長からご理解を得ることができた。

その他のご意見

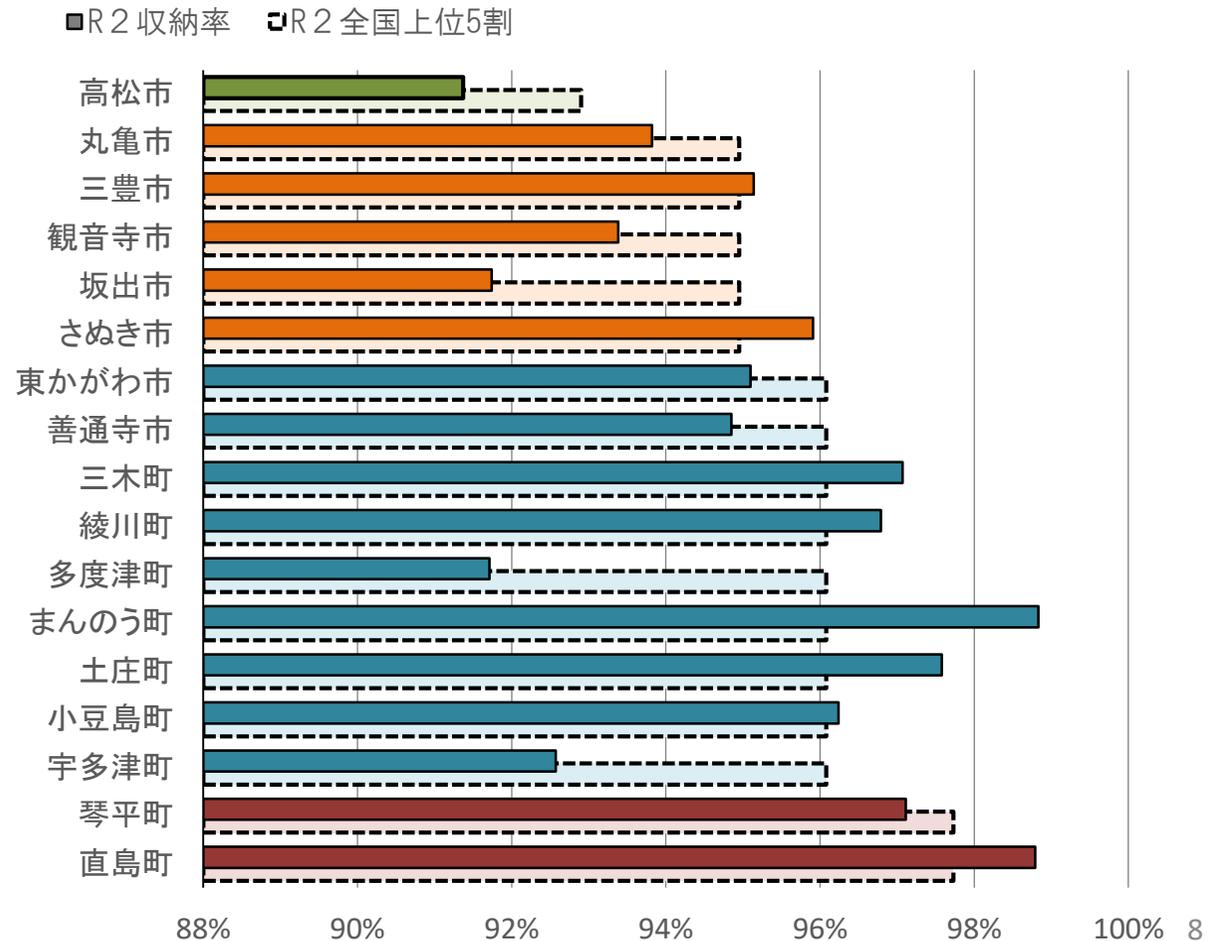
- 市町間における格差の是正に関すること
 - ・医療費水準や保険料収納率などの格差縮小に必要な対策
 - ・あらゆる事業内容の統一や事務の標準化・共同化を早い段階からの取組み
 - ・自治体間で不公平感が無くなるような制度の設計
- 被保険者(住民)の理解を得ること
 - ・住民に丁寧かつ合理的な説明するためにしっかり議論
 - ・保険料水準の統一によるメリットを示す資料の提示
- 保険料水準の統一時期に関すること
 - ・できるだけ早期に保険料水準を統一
 - ・統一への移行期間の設置
- 今後の取組みに関すること
 - ・被保険者の急激な負担を抑制する対策や算定方式改定など慎重な議論
 - ・被保険者の負担軽減のための施策の国へ働きかけ
 - ・先進地域の動向を注視し、将来的に接続する国保制度の体制整備
 - ・将来的には、保険者としての統一についての検討
 - ・統一基準の整備

など

市町間における収納率（現年分）の格差について

- 令和2年度の市町収納率（現年分）と被保険者規模別全国上位5割と比較すると、全国上位5割を上回っている市町は8市町となっている。
- また、4市町（さぬき市、三木町、まんのう町、土庄町）は、全国上位3割を上回っている。

被保険者数	保険者名	R2 収納率	R2全国 上位5割	R2全国 上位3割
79,737	高松市	91.37	92.90	94.08
22,347	丸亀市	93.82	94.95	95.82
13,895	三豊市	95.14		
12,901	観音寺市	93.38		
10,538	坂出市	91.74		
10,196	さぬき市	95.91		
6,964	東かがわ市	95.10	96.08	96.98
6,284	善通寺市	94.85		
5,740	三木町	97.07		
5,101	綾川町	96.79		
4,851	多度津町	91.71		
3,860	まんのう町	98.83		
3,510	土庄町	97.58		
3,434	小豆島町	96.24		
3,109	宇多津町	92.57	97.73	98.81
1,951	琴平町	97.11		
652	直島町	98.79		

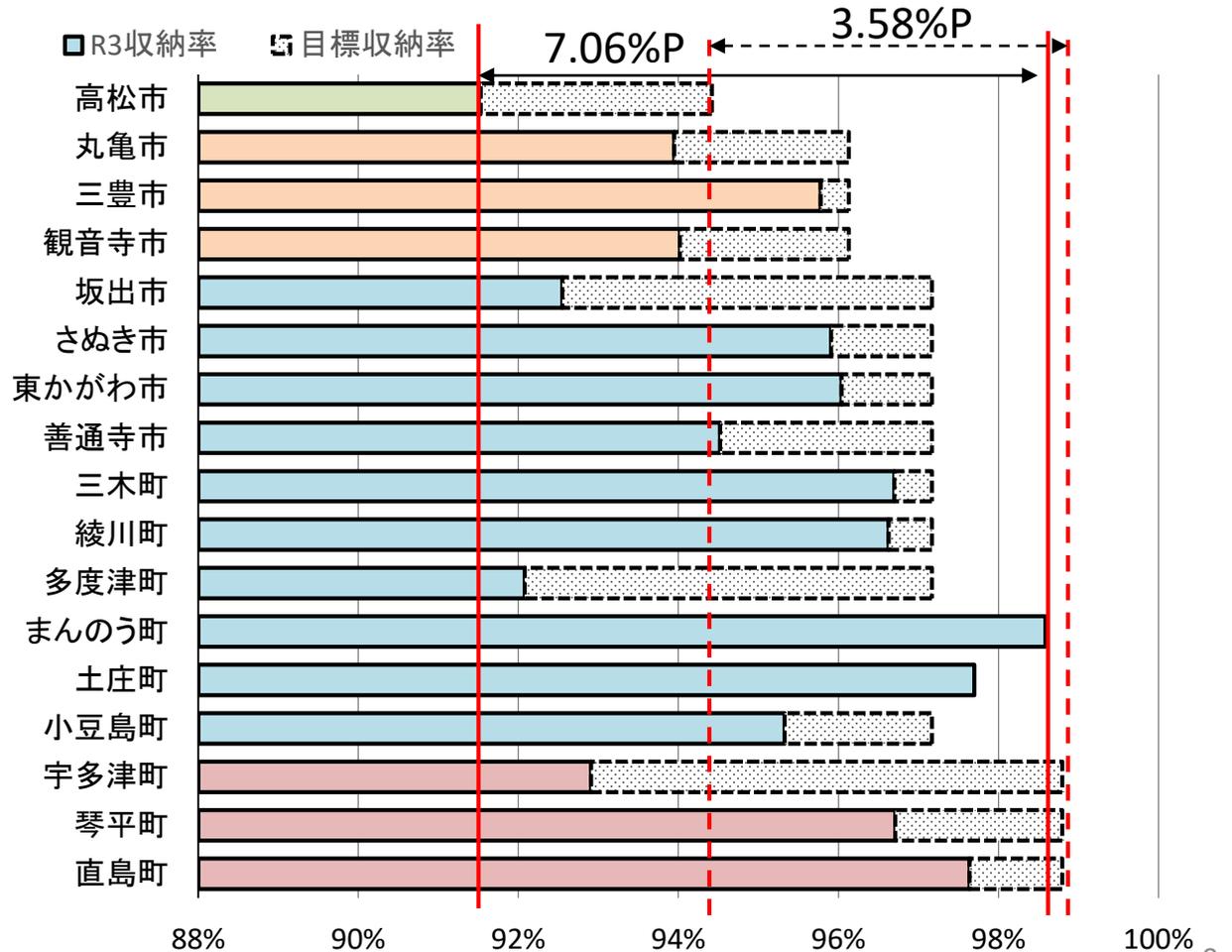


※R2年9月末現在の被保険者数で区分

市町間における収納率（現年分）の格差について

- 市町間における収納率格差は約7%ポイントある。R11年度には被保険者規模別に全国上位5割水準を目指して、格差の縮小(3.58%ポイント)に取り組む。
- 既に目標収納率を超えている、まんのう町や土庄町は、引き続き、全国上位を目指して取り組む。

被保険者数	保険者名	R3 収納率	R11 目標収納率
75,382	高松市	91.53	94.42
21,238	丸亀市	93.95	96.13
13,053	三豊市	95.78	
12,019	観音寺市	94.02	
9,767	坂出市	92.55	
9,752	さぬき市	95.91	97.17
6,444	東かがわ市	96.04	
5,936	善通寺市	94.52	
5,479	三木町	96.70	
4,864	綾川町	96.63	
4,522	多度津町	92.08	
3,683	まんのう町	98.59	
3,244	土庄町	97.70	
3,220	小豆島町	95.33	
2,972	宇多津町	92.91	
1,787	琴平町	96.71	
566	直島町	97.64	



※R4年9月末現在の被保険者数で区分

市町間における医療費水準の格差について

- 市町間における医療費水準(3年平均)の格差は1.16倍ある。県平均の医療費水準は、1.14と全国平均よりも高い水準にある。医療費水準の高い市町は、県平均(1.14)を目指して医療費適正化に取り組み県全体の医療費水準を引き下げる。
- 小規模な市町においては、毎年の医療費水準の振れ幅が大きい傾向にある。

市町名	R1	R2	R3	3年平均
土庄町	1.11	1.08	1.06	1.08
宇多津町	1.07	1.07	1.14	1.10
琴平町	1.11	1.12	1.07	1.10
まんのう町	1.06	1.14	1.14	1.11
さぬき市	1.11	1.13	1.11	1.12
三豊市	1.13	1.15	1.08	1.12
三木町	1.10	1.11	1.15	1.12
高松市	1.14	1.13	1.13	1.13
東かがわ市	1.14	1.16	1.10	1.13
丸亀市	1.15	1.14	1.13	1.14
多度津町	1.13	1.15	1.16	1.15
綾川町	1.14	1.19	1.12	1.15
善通寺市	1.12	1.15	1.19	1.16
小豆島町	1.18	1.14	1.18	1.16
坂出市	1.21	1.19	1.16	1.19
観音寺市	1.21	1.21	1.19	1.20
直島町	1.33	1.14	1.28	1.25
県平均	1.14	1.14	1.13	1.14
格差(倍)	1.26	1.12	1.22	1.16

